



**EA ファーマ株式会社**  
**2017 年度アカデミア公募**

**創薬研究パートナー募集プログラム**  
**(Wish list)**

～EA ファーマ（株）からアカデミアへの共同研究のご提案～

**2017 年**  
**EA ファーマ株式会社**  
**創薬研究所**

**【目的・背景】**

EA ファーマ株式会社は、消化器領域における日本発のスペシャリティ・ファーマとして、消化器疾患に苦しむ患者様に寄り添い、患者様とご家族に幅広くソリューションを提供するヒューマンヘルスケア（hhc）企業を目指しています。私たちは患者様の更なる医療ニーズに応えるべく消化器疾患に関わる創薬探索研究、開発研究ならびに創薬基盤技術研究に関する連携・共同研究を希望し、創薬研究パートナーの募集をしています。

**【募集内容】**

下記の募集プロジェクトについて、ご応募をお待ちしております。

- ①創薬候補および創薬標的候補プロジェクト、②疾患基盤・技術プロジェクト
- ③創薬基盤・技術プロジェクト

募集は消化器疾患領域が中心ではありますが、他疾患領域や工学・理学技術からの展開等、幅広い分野からのご提案も期待しております。

**【応募方法】**

弊社の創薬研究パートナー募集のホームページから指定の応募用紙をダウンロードし、内容をご記入の上、エントリーページより応募してください。必要に応じて別途参考資料を添付いただいて差し支えありません。応募書類は、ノンコンフィデンシャルの範囲での内容に限定してください。

**【創薬研究パートナー募集 ホームページアドレス】**

<http://www.eapharma.co.jp/openinnovation/>

**【応募期間】**

2017年10月16日（月）から11月17日（金）まで

**【選考結果について】**

応募していただいた案件は、弊社内で厳正に選考いたします。第一次選考結果は、12月12日（火）までにすべての応募案件についてメールでお知らせいたします。その後、具体的な共同研究や技術移転等の可能性に向けて、ご面談等を通じて第二次選考をさせていただきます。

**【お問い合わせ】** [faq\\_skpartner\\_ea@eapharma.co.jp](mailto:faq_skpartner_ea@eapharma.co.jp)

## 【募集プログラム】

### 1. 創薬候補および創薬標的候補プロジェクト

以下の疾患 A～F に対する創薬候補物質、新規創薬標的または医療機器を募集します。なお、創薬候補物質のモダリティは問いません（例：低分子化合物、天然物、ペプチド、抗体、核酸、細胞治療）。また、医療機器には医療素材を含みます。

#### A. 炎症性腸疾患（IBD）の合併症

- (ア) 腸管狭窄、線維化進展後に対する治療効果が期待される創薬候補  
または新規創薬標的
- (イ) 難治性痔瘻・瘻孔への治療効果が期待される創薬候補  
または新規創薬標的
- (ウ) 難治性潰瘍を線維化に至らせることなく正常に組織修復可能な創薬候補  
または新規創薬標的
- (エ) 壊死組織を正常組織に影響せず効果的に除去する物質、あるいはそれらを  
吸着・吸収できる素材

#### B. 混合型過敏性腸症候群（IBS-M）

- (ア) 既存薬とは異なるメカニズムで異常な消化管運動を正常化することで下痢と便秘を改善し、高い安全性が期待される創薬候補または新規創薬標的
  - (イ) 中枢神経機能異常の正常化により IBS-M 症状を改善し、  
高い安全性が期待される創薬候補または新規創薬標的
  - (ウ) ディスバイオーシスの正常化により IBS-M 症状を改善し、  
高い安全性が期待される創薬候補または新規創薬標的
  - (エ) IBS-M 症状のうち、特に膨満感（Bloating）に著効を示し、  
高い安全性が期待される創薬候補または新規創薬標的
  - (オ) IBS-M の臨床病態解析から特定の患者集団を同定し、  
その患者集団に特異的に効果を示す創薬候補または創薬標的
  - (カ) ドラッグリポジショニングなどの手法により、  
早期に臨床開発ステージに移行可能な薬剤あるいは化合物
- 注：プロバイオティクス、プレバイオティクス、シンバイオティクス、食品成分は除く

C. 非アルコール性脂肪性肝炎（NASH）

- (ア) 既存薬とは異なるメカニズムで肝臓の線維化を抑制、あるいは線維を溶解する作用をもち、高い安全性が期待される創薬候補または新規創薬標的
- (イ) 既存薬とは異なるメカニズムでバレーニング抑制作用をもち、高い安全性が期待される創薬候補または新規創薬標的
- (ウ) NASH の臨床病態解析から特定の患者集団を同定し、その患者集団に特異的に効果を示す創薬候補または創薬標的
- (エ) ドラッグリポジショニングなどの手法により、早期に臨床開発ステージに移行可能な薬剤あるいは化合物

D. 消化管粘膜傷害

- (ア) 消化管粘膜傷害に対する予防効果（粘膜保護）あるいは治療効果が期待できる創薬候補または新規創薬標的
- (イ) 消化管粘膜バリアの改善または増強が期待できる創薬候補または新規創薬標的
- (ウ) ドラッグリポジショニングなどの手法により、早期に臨床開発ステージに移行可能な薬剤あるいは化合物

E. 他疾患の治療による副作用

- (ア) がんを含む様々な疾患の治療によって消化器に生じる副作用（NSAID 小腸炎、抗がん剤による粘膜傷害 等）に対する予防または治療効果が期待される創薬候補または新規創薬標的
- (イ) 外科手術等で消化器に生じる合併症に対する予防または治療効果が期待される創薬候補または新規創薬標的あるいは医療機器（癒着防止、創傷被覆、シーラント材 等）

F. その他疾患

- (ア) 治療満足度が満たされていない消化器系の疾患（例えば慢性膵炎や、消化器希少疾患 等）に対して治療効果が期待される創薬候補または新規創薬標的

## 2. 疾患基礎・技術プロジェクト

以下の疾患 A～D に対する技術・バイオマーカー・評価系を募集します。

### A. 炎症性腸疾患 (IBD)

- (ア)ヒトの消化管内に存在する微生物（難培養性腸内細菌、真菌やファージ・ウイルス含む）の同定技術および単離・培養基盤技術
- (イ)ヒトの免疫機能(賦活化、寛容化など)および消化管機能（運動、透過性、線維化など）に影響を与える微生物の構成因子に関する情報・技術またはその分離・精製基盤技術
- (ウ)痔瘻・瘻孔を発症する動物モデルあるいは病態を反映した in vitro 評価系
- (エ)腸炎等に伴い腸管に線維化をきたす動物モデル、あるいは腸管に難治性潰瘍を形成する動物モデル
- (オ)腸管における線維化機序を模倣した in vitro 評価系

### B. 混合型過敏性腸症候群 (IBS-M)

- (ア)IBS-M の病態を反映した、新規の in vivo または in vitro 評価技術、特に臨床検体を用いた評価技術
- (イ)膨満感 (Bloating) が評価可能な新規の in vivo モデル
- (ウ)内臓知覚過敏を示す患者集団を簡便に同定する技術（パロスタットは除く）
- (エ)IBS-M の症状や重篤度が定量可能なバイオマーカー

### C. 非アルコール性脂肪性肝炎 (NASH)

- (ア)NASH の病態を反映した、新規の in vivo や in vitro 評価技術
- (イ)NASH の線維化を簡便に同定する新規技術
- (ウ)NASH の症状、重篤度や予後が定量可能なバイオマーカー

### D. 消化管粘膜傷害

- (ア)消化管粘膜傷害の薬効評価を可能にする新規の in vivo や in vitro 評価技術
- (イ)内視鏡を用いずに小腸粘膜病変を検出、診断可能な新規バイオマーカー

### 3. 創薬基盤・技術プロジェクト

以下の創薬基盤技術を募集します。

#### A. 核酸医薬

- (ア) プロジェクト1に記した疾患A～Fの治療標的となりうる細胞に対して効率よく核酸をデリバリーすることが可能な技術  
具体例：肝星細胞、免疫系細胞、平滑筋細胞、カハール細胞、上皮細胞、末梢・中枢神経細胞など
- (イ) 核酸医薬の経口化技術
- (ウ) 核酸医薬の効力向上や副作用予測に有用な分子設計技術

#### B. ペプチド医薬

- (ア) 特殊アミノ酸を含む生理活性ペプチド（マクロライドなど）の合成技術とそれを活用した化合物ライブラリ
- (イ) 生理活性ペプチドの経口化、安定化技術
- (ウ) 生理活性ペプチドと標的タンパクの結合様式を推測する技術

#### C. 人工知能（AI）

- (ア) 標的タンパクの同定、分子設計やバイオマーカー探索などを支援するAI

#### 【備考】

すべてのプロジェクトにおいて、消化器疾患に適応可能であれば他疾患の創薬候補を応用したご提案でもよく、エントリー時点で消化器疾患でのデータはなくても構いません。